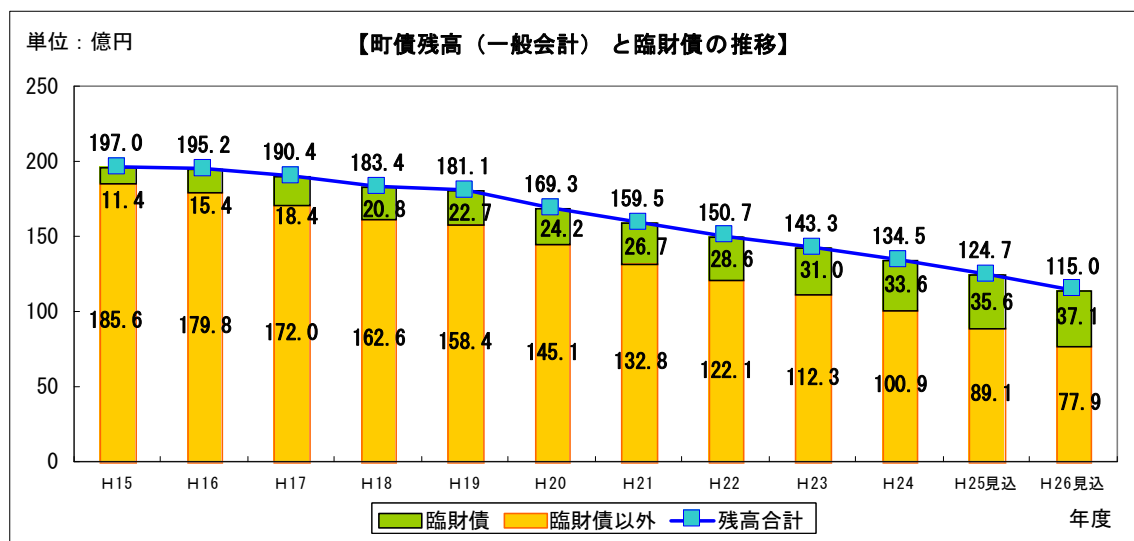
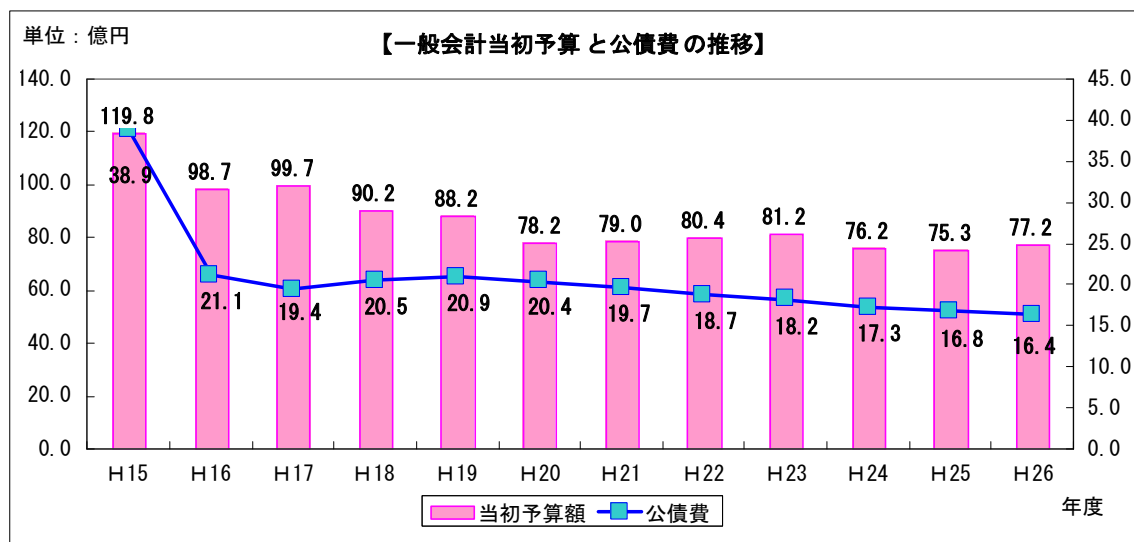
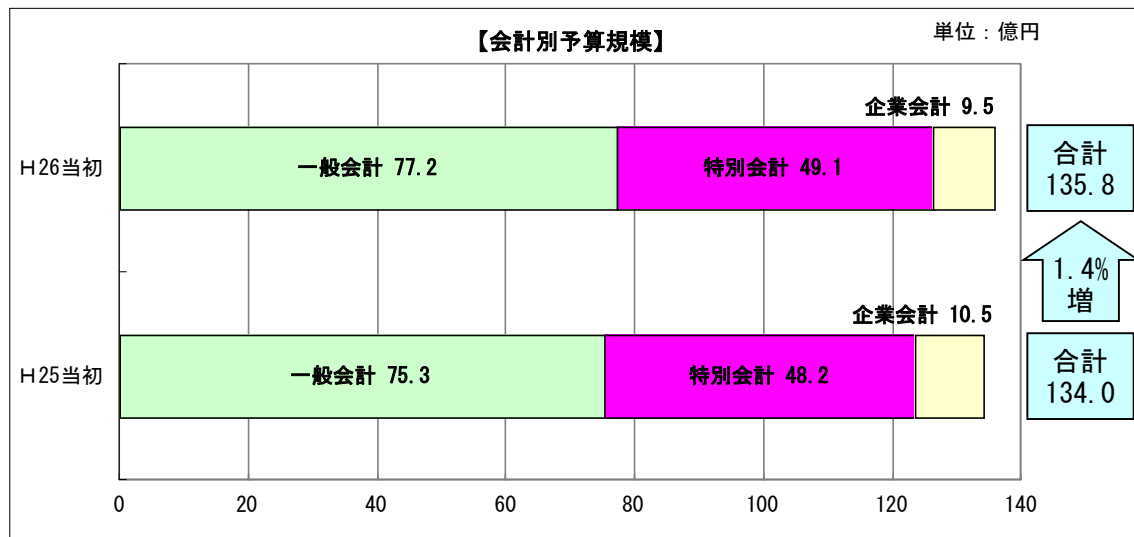
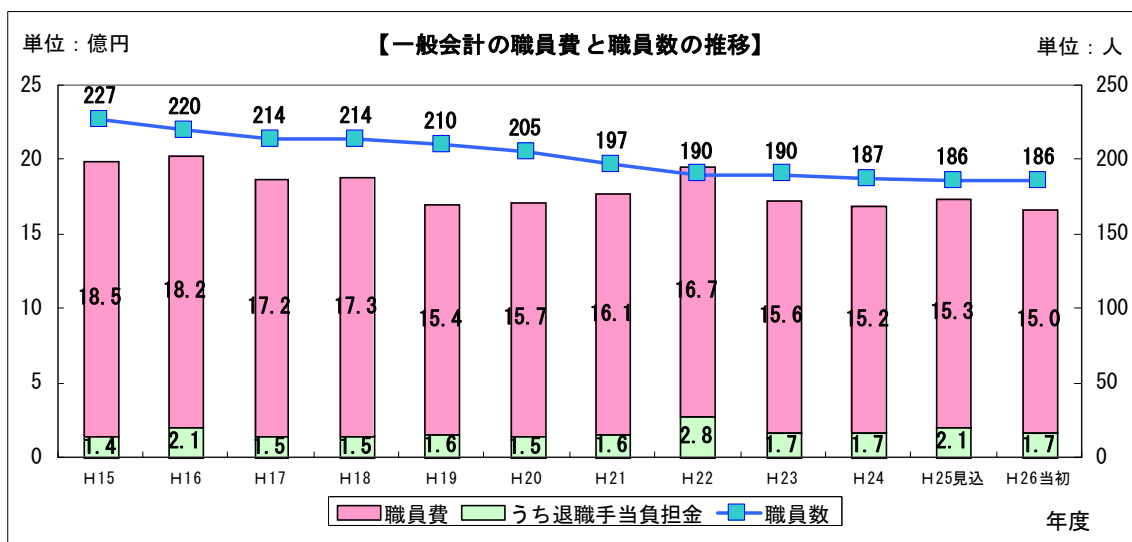
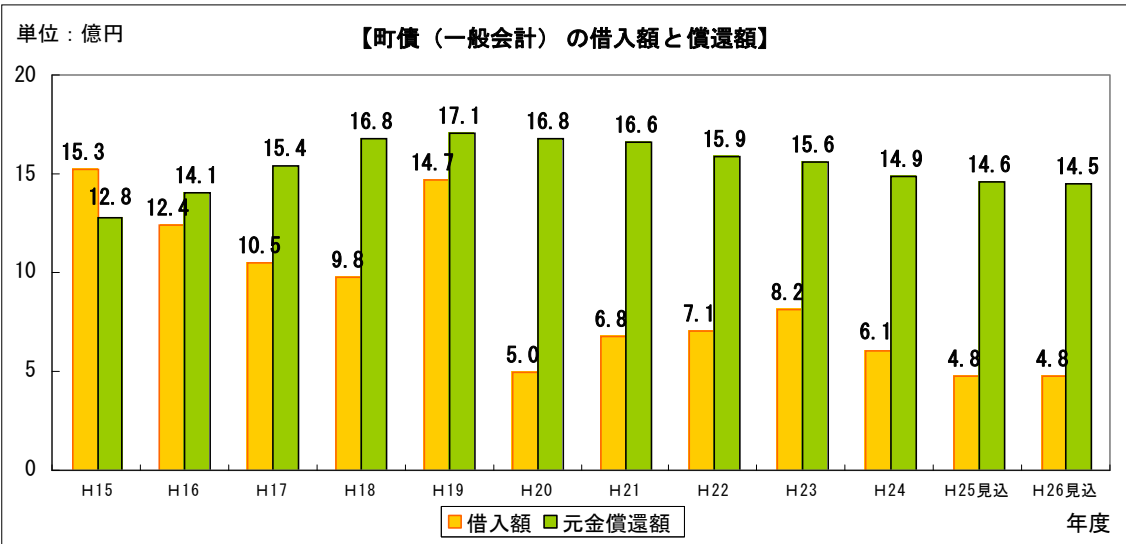


平成26年度
当初予算の概要（資料編）

当別町総務部財政課

■ 平成 26 年度 一般会計当初予算の全体像





性質別経費の状況（一般会計）

（単位：千円・％）

性質別名称	平成26年度		平成25年度		比較	
	総額	構成比	総額	構成比	増減額	増減率
消費的経費 (A)	6,761,329	87.6	6,704,019	89.1	57,310	0.9
義務的経費	4,118,228	53.3	4,186,724	55.6	▲ 68,496	▲ 1.6
人件費	1,728,716	22.4	1,763,523	23.4	▲ 34,807	▲ 2.0
扶助費	750,757	9.7	747,676	9.9	3,081	0.4
公債費	1,638,755	21.2	1,675,525	22.3	▲ 36,770	▲ 2.2
その他	2,643,101	34.3	2,517,295	33.5	125,806	5.0
物件費	1,067,902	13.8	1,022,209	13.6	45,693	4.5
維持補修費	329,034	4.3	329,575	4.4	▲ 541	▲ 0.2
補助費等	1,246,165	16.2	1,165,511	15.5	80,654	6.9
その他の経費 (B)	678,292	8.8	673,008	8.9	5,284	0.8
積立金	3,672	0.0	2,039	0.0	1,633	80.1
投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
繰出金	644,620	8.4	640,969	8.5	3,651	0.6
貸付金	30,000	0.4	30,000	0.4	0	0.0
投資的経費 (C)	270,406	3.5	145,447	1.9	124,959	85.9
普通建設事業費	270,406	3.5	145,447	1.9	124,959	85.9
補助事業	42,200	0.5	26,000	0.3	16,200	62.3
単独事業	214,088	2.8	111,336	1.5	102,752	92.3
道営事業	4,750	0.1	750	0.0	4,000	533.3
受託事業	9,368	0.1	7,361	0.1	2,007	27.3
災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
予備費 (D)	5,000	0.1	5,000	0.1	0	0.0
合計 (A) + (B) + (C) + (D)	7,715,027	100.0	7,527,474	100.0	187,553	2.5

平成 26 年度 当初予算における主な事業【部署別】

※（ 千円）は、前年度当初予算額

【 総 務 課 】

○行政区及び行政推進員制度 （継続）

事業費： 6,505 千円（ 6,505 千円）

地域（住民）と行政の円滑な連絡調整や情報交換を図るため、現在 40 の行政区を設定しており、1 行政区に 1 名の行政推進員を委嘱し行政情報の提供を行うなど、効率の良い開かれた町政を実践する。

○防災資機材等備蓄事業 （継続）

事業費： 2,000 千円（ 1,900 千円）

災害の発生に備えて、応急対応としての食糧及び生活用品等の支給が行えるよう、必要な資機材を備蓄する。

○非常用電源搭載車購入事業 （新規）

事業費： 4,865 千円（ 0 千円）

災害等により停電が発生した際の応急対応として、移動可能な非常用電源の確保を図るため、プラグインハイブリッド（PHEV）自動車を導入する。

○まるとまちごとハザードマップ看板設置事業 （新規）

事業費： 1,200 千円（ 0 千円）

洪水災害に備えて、居住地域をまるとまちごとハザードマップと見ため、生活空間である「まちなか」に想定浸水深、避難所誘導・表示の標識を設置する。

【 納 税 課 】

○徴収対策の充実(コンビニ収納サービス) （継続）

事業費： 1,128 千円（ 1,179 千円）

町民への納税サービスの向上を図るとともに、納税手段を拡充し収納率を向上させるため、町税や国民健康保険税について、役場や金融機関が閉庁（店）となる深夜や土・日曜日でも納税ができるよう、コンビニ収納サービスを実施する。

【 財 政 課 】

○公債費 （継続）

事業費： 1,638,755 千円（ 1,675,525 千円）

実質公債費比率が高いことから地方債発行を計画的に行っており、公債費は毎年減少している（△36,770 千円）。

- ① 長期債元金償還金： 1,445,018 千円（△12,608 千円）
- ② 長期債利子償還金： 190,737 千円（△24,162 千円）
- ③ 一時借入金利子： 3,000 千円（△ 0 千円）

※平成 26 年度 地方債発行見込み(当初)

- 子ども発達支援センター整備事業債： 97.5 百万円
- 道営土地改良事業債： 5.0 百万円
- 豪雪対策事業債： 10.9 百万円
- 河川等整備事業債： 14.4 百万円
- 学校給食センター改修事業債： 10.5 百万円
- 臨時財政対策債： 340.0 百万円 （合計：478.3 百万円）

【 美しいまちづくり課 】

○当別町コミュニティバスの運行 （継続）

事業費： 12,000 千円（ 12,000 千円）

平成 23 年 4 月から本格運行を開始した「当別町コミュニティバス(当別ふれあいバス)」の運行主体である当別町地域公共交通活性化協議会に対し負担金を支出し、官民共同によるコミュニティバスの運行を継続する。

○当別ブランド推進事業 （継続）

事業費： 13,094 千円（ 12,422 千円）

当別町の認知度・イメージの向上と農産物や加工品等のブランド化を目指し、町外（札幌市を中心とした）での積極的なプロモーション活動（広報・宣伝）を展開する。

また、北海道医療大学と連携したブランド商品の開発を継続実施する。

○まちの魅力発信事業 （継続）

事業費： 720 千円（ 700 千円）

町内の各種施設、店舗の紹介に加え、子育て情報を掲載したパンフレットを作成し、町外イベント、施設、町内各店舗、町民など、子育て世帯を中心に町内外へ広く配布する。

○地域で子どもを育む社会づくり事業（継続）

事業費： 400 千円（ 400 千円）

積極的に少子化対策に取り組む団体に委託し、活動テーマに沿った放課後や休日を利用した課外事業など、子どもの居場所づくり事業を実施する。

【 環境生活課 】

○消費生活相談事業（継続）

事業費： 4,797 千円（ 4,140 千円）

平成21年度から消費生活相談員を配置し、町民の消費生活相談窓口を設置している。

併せて、町民が消費生活のトラブルに巻き込まれないよう出前講座をはじめ、広報やチラシ等による啓発活動を強化し、消費者被害の未然防止を図る。

【 住 民 課 】

○特定健康診査・特定保健指導等保健事業（継続）

事業費： 34,712 千円（ 34,094 千円）

平成20年度から生活習慣病の発症と重症化を予防するため、生活習慣改善の促進、支援を行っている。平成25年度からの第2期特定健康診査等実施計画に基づき、平成29年度に60%の受診率を目標とし、未受診者の受診勧奨、町内会への啓発活動を強化し、受診率の向上に取り組むとともに予防を重視した健康づくりの推進を図る。

【 福 祉 課 】

○障がい者の地域生活への支援（継続）

事業費： 22,204 千円（ 23,302 千円）

障がいのある方が、能力及び適性に応じ自立した日常生活又は社会生活ができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による相談支援や移動支援、日中一時支援、重度の身体障がい者等への日常生活用具給付等の事業を実施する。

○地域活動支援センター事業（継続）

事業費： 10,307 千円（ 10,051 千円）

就労が困難な障がい者等が通所して、創作的活動や生産活動、日常生活の機能訓練等を行うことにより、その自立を図ると共に地域の中で充実した生活を送ることができるよう支援する。

○障がい福祉サービスの実施（継続）

事業費： 424,062 千円（ 418,961 千円）

障がいの程度が一定以上の方々に対し、居宅介護や施設入所、就労支援等の事業により生活上・療養上の必要な介護を行い、また身体的・社会的な生活支援や就労等につながる支援を行うことによって、総合的に地域での生活を支える。

○重度心身障がい者医療費の給付（継続）

事業費： 42,991 千円（ 42,127 千円）

身体、知的、精神に重度の障がいがあるの方々に対し、医療費の自己負担分を助成し負担を軽減することで、健康の保持及び福祉の増進を図る。

○地域包括支援センター事業（継続）

事業費： 19,426 千円（ 18,991 千円）

高齢者の方が、いつまでも住み慣れた地域で生活することができるよう、介護予防や地域の総合的な相談の拠点として設置。介護予防ケアマネジメントや総合的な相談・支援、権利擁護、虐待の早期発見と防止、ケアマネジャーへの支援を行う。

○がん検診事業（継続）

事業費： 17,421 千円（ 16,764 千円）

がんの早期発見・治療のために、各種がん検診を実施する。特に子宮頸がん検診・乳がん検診・大腸がん検診については、特定の年齢の方に個別発送にてがん検診の大切さの普及啓発と無料クーポンの発行や未受診者への受診勧奨を行い、受診率の向上及びがんの早期発見・早期治療につなげていく。

○小児期定期予防接種事業（継続）

事業費： 13,775 千円（ 16,649 千円）

ワクチンで予防することができる子どもの感染症予防のため、麻しん、風しん、小児用肺炎球菌等の予防接種を実施する。予防接種を受けやすい体制をつくり、集団の流行を予防するとともに、個人の罹患及び重症化予防を図る。

○福祉避難所整備事業（継続）

事業費： 1,305 千円（ 1,500 千円）

災害時、福祉避難所として総合保健福祉センターを活用するため、応急対応分の介護用品・衛生用品等の備蓄や備蓄品等収納場所確保を、防災部局と連携しながら整備する。

○臨時福祉給付金事業（新規）

事業費： 49,749 千円（ 0 千円）

消費税の引き上げに際し、低所得者（町民税非課税者（生活保護受給者を除く。））への影響を緩和するなどの観点から、国の政策に基づき臨時的な給付措置を行う。

【 子育て推進課 】

○児童手当の支給（継続）

事業費： 199,828 千円（ 207,676 千円）

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援する目的から、法令に基づき、3歳未満までは15千円、3歳以上～小学生修了前までは10千円（第3子以降は15千円）、中学生は10千円を児童手当として支給する。

また、所得制限超過者については、一律5千円を支給する。

○私立保育所への運営補助（継続）

事業費： 57,857 千円（ 49,747 千円）

平成21年度から東保育所を民営化し運営開始した私立当別夢の国保育園（平成23年度からは「認定こども園 当別夢の国幼稚園」内に設置）が、民間活力による新しい幼児教育・保育環境の創出に取り組み、充実した保育サービスに努めるため、国・道・町による保育所運営費の負担並びに安定的運営のための運営補助を行う。

○ふとみ保育所の民間委託（継続）

事業費： 92,959 千円（ 94,588 千円）

当別町幼稚園・保育所計画に明記されているとおり、多様化かつ増大する教育・保育ニーズに迅速かつ柔軟に対応するため民間活力を導入すべく、平成23年度よりふとみ保育所の運営を業務委託している（公設民営方式）。

○子ども発達支援センター運営事業（継続）

事業費： 14,736 千円（ 12,533 千円）

心身の発達に特性を持つ児童に対し、可能な限りその地域の集団生活に適應できるよう、当該児童及びその保護者に対し、指導・訓練等の支援を行う。

○子ども発達支援センター建設事業（継続）

事業費： 135,000 千円（ 1,991 千円）

施設の老朽化が著しいことから、利用者の安全及び提供サービス向上のため、新規に建物を建設し移設する。

■本体・外構工事 100,000 千円 ■用地購入費 10,000 千円
■施設内備品等 5,000 千円 ■旧道有施設解体工事 20,000 千円
▽木造平屋建て（建築面積 403.08 m²）

○子ども発達支援センター相談支援事業（新規）

事業費： 4,900 千円（ 0 千円）

利用者の多様なニーズ、生活環境及び対象児童の特質に配慮した障害児支援利用計画を作成し、各利用者に適した療育を提示することで、早期療育の推進と利用者サービスの強化を図るとともに継続的な利用者の安心を確保する。

○西当別子どもプレイハウス移設事業（新規）

事業費： 7,091 千円（ 0 千円）

施設の老朽化が著しいこと、また、通所する児童の安全確保のため、西当別小学校内の余裕教室を改修し、西当別子どもプレイハウスを同校内へ移設する。保護者が安心して子どもを預けられる環境を整備することで子育て支援環境の充実を図る。

○子育て世帯臨時特例給付金事業（新規）

事業費： 18,206 千円（ 0 千円）

消費税の引き上げに際し、子育て世帯（15歳以下の子を持つ世帯）への影響を緩和するなどの観点から、国の政策に基づき臨時的な給付措置を行う。

【 農 林 課 】

○当別新産業活性化センターへの補助金（継続）

事業費： 2,250 千円（ 2,500 千円）

平成22年7月に設立した（一社）当別新産業活性化センターへの事業費に対する補助金。

同センターは、町内の農・商・工連携による新たな事業化の検討や町外企業との結びつきのコーディネートなど町内産業の活性化を目的に、新産業創出支援事業や新規販路開拓事業及び農業の担い手の育成・確保事業等を行う。

○道営及び国営土地改良事業等による償還金（継続）

事業費： 79,283 千円（ 80,725 千円）

農業振興地域の保全などを目的とした、農用地の基盤整備（土地改良）事業等における元利償還金。

○農地・水保全管理支払交付金（継続）

事業費： 42,393 千円（ 42,418 千円）

農業用排水路や農道など農業施設の機能維持活動と当別町景観計画に基づく農村景観の向上活動に取り組む活動組織の事業経費に対する負担金。

事業経費は、町のほかに国や北海道も負担している。

【 商 工 課 】

○中小企業特別融資制度（継続）

事業費： 33,685 千円（ 33,685 千円）

中小企業の経営基盤安定化を図る施策の一環として、町内 3 金融機関へ預託（30 百万円）運用し、資金融資の利便性を向上させ事業を実施する。

○企業立地促進条例PR事業（継続）

事業費： 685 千円（ 134 千円）

産業振興と地域経済の活性化を図るため、北海道銀行及び札幌市主催の企業誘致セミナーに参加するなどし、首都圏等の企業誘致に向けた情報収集と営業活動を実施する。

○当別町観光協会補助金(FIKA)（継続）

事業費： 2,000 千円（ 0 千円）

当別町内の観光施設等の維持管理及び観光事業の実施並びに道民の森売店の運営、また当別観光情報プラザ F I K A の管理運営の一部を補助する。

【 プロジェクト推進室 】

○仮称 当別町道の駅基本計画・基本設計業務委託（新規）

事業費： 21,001 千円（ 0 千円）

第5次総合計画に掲げる、個性ある地域づくりの実現、がんばる経済活動への支援として、当別町に人を呼び込む施設を整備すべく、基本計画の作成及び基本設計を行う。

○当別町新エネルギープロジェクト推進事業（新規）

事業費： 437 千円（ 〇 千円）

当別町のエネルギー政策を推進するため、公共施設及び町有地（遊休地）の有効活用についての検討や先例地の実例などを基に、新エネルギー導入の実現可能性を検証する。

【 建 設 課 】

○除排雪事業（継続）

事業費： 247,887 千円（ 212,138 千円）

冬期間において、地域住民の協働参加の中で、快適な町民生活及び産業・経済活動を確保するため、除排雪業務を行う。

また、除排雪した雪を処理できるよう、町内の主要地域において雪捨て場を確保する。

○除雪機械購入事業（継続）

事業費： 41,000 千円（ 39,000 千円）

町有車両の老朽化等により、除雪体制の維持が困難な状況が生じていることから、適切な保有台数を確保し委託業者に貸与することで、冬期間の安全な交通網を確保する。

【 教育委員会 管理課 】

○一貫教育先進地視察研修事業（新規）

事業費： 458 千円（ 〇 千円）

小中若しくは中高の一貫教育の検討をするにあたり、先進的に取り組んでいる実践校及び一貫校の視察研修を行う。

○各小中学校英会話指導助手配置事業（継続）

事業費： 4,736 千円（ 2,886 千円）

小学校低学年から英語に親しみ、幼稚園・保育所からの継続的な英語教育の充実を図るため、小学校では、これまで実施していなかった１年生から４年生まで年間１０時間を新たに設け、５年生から６年生までは６時間拡大し年間２４時間とし、外国人講師による英会話指導助手を各小中学校へ派遣する。

○弁華別中学校専任事務嘱託員配置事業（新規）

事業費： 2,202 千円（ 〇 千円）

平成２６年度から弁華別中学校の生徒数の減少による教職員の定数の削減に伴い、学校事務職員が配置されないことから、統廃合までの間、専任の事務嘱託員を配置する。

○認定こども園に対する特別支援教育費の補助（継続）

事業費： 3,694 千円（ 3,978 千円）

認定こども園「当別夢の国幼稚園」において、特別な支援が必要とされる園児も安心して幼稚園生活が送れるよう配置する、特別支援教育支援員の人件費補助を行う。

【 教育委員会 社会教育課 】

○学校支援地域本部事業（継続）

事業費： 860 千円（ 801 千円）

地域住民等がボランティアとして参画し、様々な学校の支援活動を行うことで、子ども達の教育の充実を図る。実施経費は、国・道・町がそれぞれ1／3を負担する。

○フィットネスカレッジ（継続）

事業費： 421 千円（ 421 千円）

運動実践の機会の充実による町民の健康増進を目的に、ストレッチやエアロビクス等を実践しやすく、家庭でも継続して行えるようにアレンジしたプログラムと、生活状況や健康状態・身体状況にあわせた個別運動メニューを作成し、提供する。

○当別町図書館像検討委員会（新規）

事業費： 763 千円（ 0 千円）

生涯学習社会における当別町にふさわしい図書館像を検討するため、委員会を設置し、当別町における図書環境の現状や課題の把握、道内外の先進地視察を行うなど、具体的な検討を行う。

○当別総合型地域スポーツクラブへの補助（新規）

事業費： 227 千円（ 0 千円）

子どもの発育・発達に必要なバランスの取れた脳と身体への運動刺激を行う「コーディネーショントレーニング」や、日本の伝統的な礼法を体験し知・徳・体のバランスの良い子どもを育てる「マナーキッズプロジェクト」等を実施する当別総合型地域スポーツクラブへの補助を行う。

【 教育委員会 学校給食センター 】

○学校給食センター改修事業（継続）

事業費： 20,076 千円（ 39,431 千円）

厨房設備等を計画的に改修することにより、町内小中学校の児童生徒へ安定した給食を提供する。

【 農業委員会 】

○農地基本台帳システム等整備業務委託事業 （新規）

事業費： 5,498 千円（ 〇 千円）

農地の適正管理や農地の利用権設定及び利用状況の把握、農業の担い手への農用地利用集積を図ることを目的に整備する。

☆平成 25 年度当初予算計上 終了・廃止等の主な事業

● 防災用情報通信設備整備事業	646 千円
● 町有建物耐震診断調査事業	3,650 千円
● 緊急雇用創出推進事業	8,250 千円
● 仮称 当別町インフォメーションセンター検討調査委託事業	3,812 千円
● 町道十五線防雪柵設置事業	26,000 千円
● 白樺コミュニティーセンター耐震診断調査業務委託事業	3,050 千円
● 消防救急デジタル無線共同整備事業	1,639 千円
● 高機能消防指令システム整備事業	17,121 千円
● 当別消防創設 100 周年記念事業	2,059 千円

☆平成 25 年度予算 繰越事業

● 総合保健福祉センター冷温水機伝熱管入替事業	3,885 千円
● 保育システム改修事業	1,836 千円
● 当別農業振興地域整備計画書作成事業	14,910 千円
● 橋梁長寿命化修繕事業	29,200 千円
● 水槽付消防ポンプ自動車整備事業	54,586 千円
● 防災関係事業	1,988 千円